

第 69 回
阪神さくら地区
耐寒訓練
実施計画書



作成：耐寒訓練実行委員会

§1. 計画概要

1. 目的

各隊で実施してきた班長訓練の成果を確認するとともに、地区 BS 隊の全班長・次長が一堂に会し、共通のプログラムに挑戦することにより、自己の班長次長としてのレベルを知り、今後の班活動への励みとする。また、主に地区内スカウトの交流を深めることを目的としたプログラムを展開することにより、地区内での面識を深め、仲間意識の向上を図る。

2. 実施日

2021年1月10日（日）～11日（月・祝）

3. 集散

集合 2021年1月10日（日） 13:30 神戸市立少年自然の家
各班で班ハイキングを実施し、神戸少年自然の家まで向かう。
班ハイキングは、護国神社を出発地点とする（詳細後述）。
解散 2021年1月11日（月） 18:00 西宮市民交流センター ホール

4. 実施場所

神戸市立少年自然の家（摩耶施設）
〒657-0101 神戸市灘区六甲山町中一里山 1-1 TEL.078-891-0001
<http://www.kobe-sizennoie.com/>

5. 内容

10日 技能ワークショップ、計画書・報告書の書き方セミナー
11日 ポイントハイキング

6. 対象

- (1) スカウト：BS 隊班長・次長（及び隊長が参加を認めた者）
1班 4～8名で班構成することとする。
原隊で構成が不可能な団は、他団と合同で4人以上の班を構成する。
- (2) 参加指導者 BS 隊指導者
- (3) 奉仕指導者 BS 隊以外の指導者

7. 参加費

スカウト、指導者 一人につき 3,000円（12月15日の地区協議会にて徴収）

8. 参加者持ち物

訓練用具、水筒、地形図（国土地理院 1/25000 『神戸首部』『有馬』『西宮』）、懐中電灯（ヘッドライトが望ましい）、簡易測量器、スカウトハンドブック、健康チェックシート、その他1泊2日の舎営に必要なもの。

9. 展開予定

2020年

12月12日(土) ラウンドテーブル

1日目プログラム担当者決定、現地までの班ハイキングに関する連絡等

12月15日(火) 地区協議会：申込メ切、参加費徴収

2021年

1月8日(金) ラウンドテーブル：プログラム内容確認、最終打ち合わせ

1月10～11日 活動実施展開

1月12日(火) 地区委員会：終了報告

1月下旬 実行委員会にて評価反省、報告書まとめ

2月9日(火) 地区委員会：報告書提出

10. 実行委員会

役務	所属	氏名
実行委員長	西宮 10	加地 慧一
副実行委員長	芦屋 3	田路 達也
1日目プログラム担当		
1日目プログラム担当	西宮 6	林 滉太郎
2日目プログラム担当	西宮 27	内田 将都
	西宮 13	上田 峻平
会計・渉外・生活	西宮 20	呉田 利之
記録事務	西宮 9	鶴丸 一志
担当役員	芦屋 3	岡崎 正悟
担当コミッショナー	西宮 11	藤尾 盛二郎

§2. 全体タイムスケジュール

時間	実施内容	参加/奉仕指導者の動き	実行委員会	行事委員会： 支援車両担当
1/10				
07:45			実行委員会車両班集合@トヨタレンタリース西宮北口店	
08:00			レンタカー受け取り 地区事務所に向かう	
08:15			必要備品積み込み@地区事務所	
08:30			護国神社に向けてレンタカー出発	
09:30			護国神社に実行委員会集合	
09:45			受付準備	
10:00 10:30	班ハイキング出発 受付 @護国神社		受付担当：呉田、鶴丸	
	神戸少年自然の家 に向けて班ハイキング		先発、中追い、後追いとして随時出発 後追いは、参加予定班が全部通過した段階で、神戸少年自然の家に向けて出発	神戸少年自然の家にて待機
13:00 14:00		集合@神戸少年自然の家 広場 指導者会議	指導者会議の進行	
14:00 14:25	耐寒訓練受付 @神戸市立自然の家		受付担当：呉田、鶴丸	
14:30 14:40	開会式 ※式次第は別途記載 式典終了後、多目的ホールに移動		式典進行	
14:45 14:55	施設の人からの説明@多目的ホール	ワークショップ担当は準備	施設説明会場の進行 ワークショップ準備	
15:00 17:45	技能ワークショップ	担当のワークショップの内容実施	担当：田路、林	
18:00 18:45	夕食@食堂	報告書書き方講座担当者は順次準備		
19:00 20:15	報告書書き方講座			
20:30	班長連絡会		連絡会進行：加地	

20:45	@洋室研修室			
21:00		指導者会議：ポイントハイキング最終打ち合わせ@洋室研修室	説明：内田、上田	
21:45		ポイント担当ごとに終了		
22:00	消灯			
1/11				
06:00	起床 清掃			
07:00	朝食@食堂			
07:30	朝礼@広場	ポイント1以外の担当者は移動開始	式典進行	
07:45	※式次第は別途記載			
08:00	ポイントハイク			ポイント2にて資材を搬出
16:00	※詳細は後述			
17:00	閉会式 @市民交流センター ※式次第は別途記載		式典進行	
18:00	解散			

§3. セレモニー次第

- 開会式

項目	担当	内容
集合	(未定)	U字形に集合
開会宣言	司会：(未定)	「只今より、第 69 回阪神さくら地区耐寒訓練開会式を行う」
国旗儀礼	旗手：(未定)	「国旗儀礼」「他の者は掲揚柱に正対」「直れ、元の位置」
おきて唱和	(未定)	「おきて唱和」
地区コミッショナー挨拶	地区コミッショナー	「地区コミッショナー、挨拶」
実行委員長挨拶	実行委員長	「耐寒訓練実行委員長、挨拶」
ソング	ソングマスター：(未定)	「ソング、連盟歌」
閉会宣言	司会：(未定)	「以上で、第 69 回阪神さくら地区耐寒訓練開会式を終わる」
解散	(未定)	

- 朝礼

項目	担当	内容
集合	(未定)	U字形に集合
開会宣言	司会：(未定)	「只今より、第 69 回阪神さくら地区耐寒訓練 2 日目朝礼を行う」
国旗儀礼	旗手：(未定)	「国旗儀礼」「他の者は掲揚中に正対」「直れ、元の位置」
朝の言葉	実行委員長	「朝の言葉」
ソング	ソングマスター：(未定)	「ソング、(未定)」
閉会宣言	司会：未定	「以上で、第 69 回阪神さくら地区耐寒訓練 2 日目朝礼を終わる」
解散	(未定)	

- 表彰式、閉会式

項目	担当	内容
集合	(未定)	U字形に集合
表彰式開会宣言	司会：(未定)	「只今より、第 69 回阪神さくら地区耐寒訓練表彰式を行う」
結果発表	2 日目プログラム担当	「結果発表」
表彰	地区コミッショナー	
閉会式開会宣言		「引き続き、第 69 回阪神さくら地区耐寒訓練閉会式を行う」
地区委員長挨拶	地区委員長	「地区委員長挨拶」
実行委員長挨拶	実行委員長	「実行委員長挨拶」
ソング	ソングマスター：(未定)	「ソング、光の道」
国旗儀礼	司会：(未定)	「国旗儀礼、国旗に正対」
閉会宣言	司会：(未定)	「以上で、第 69 回阪神さくら地区耐寒訓練閉会式を終わる」
解散	(未定)	

§4. 1 日目プログラム詳細

1. 班ハイキング

- 実施時間：10:00-13:30
- 出発場所：護国神社（神戸市灘区篠原北町4丁目5-1）
- 実施詳細
 - 下記の想定に基づき、護国神社を出発地点とし、神戸少年自然の家を到達地点とする班ハイキングを実施する。
「〇〇隊に入隊するための修行を山で行うため、神戸市立少年自然の家に向かう」
 - 推奨ルート：護国神社～長峰中学校～長峰霊園～杣谷川沿いの登山道（カスケードバレー）～杣谷峠～神戸少年自然の家
 - 各班で計画した経路の計画と班ハイキング参加者一覧を護国神社で実行委員会に提出してから出発する。
 - 想定文は、12月12日のラウンドテーブルにて配布する。

2. 技能ワークショップ

- 実施時刻：15:00～17:45
- 実施場所、担当指導者

技能	実施場所	メイン講師	サポート
通信	和室研修室		
救急	洋室研修室		
結索	多目的ホール（内容によつては屋外も可）		
計測			
読図			

担当者は12月のラウンドテーブルにて決定

- 各ポイント最低限実施事項

技能	実施事項
通信	手旗やモールス信号の受け取り方、追跡サイン
救急	鎖骨骨折の応急処置、虫刺されや毒への応急処置法
結索	トートラインヒッチ、角縛り
計測	スカウトペースを用いた計測、高さの計測の仕方
読図	野帳と略地図の書き方

- 準備物
ブルーシート、メジャー、木材、ロープ、（必要な場合）PC、プロジェクター（施設でレンタル可能）、その他ワークショップで必要なものがあれば担当者/実行委員会で準備
- 実施詳細
 - 2班1組にしてポイントを回る。
 - 1ポイントあたり25分、移動5分とする。
 - 実施内容については最低限実施事項を参考にして各ポイントの担当の指導者に任せる。
 - 室内でやりにくい技能訓練は屋外での実施も可
- プログラムの想定
「技能の上手い柱（師匠）から、とっておきの技能を学び身につける」

3. 計画書・報告書の書き方講座

- 実施時刻：19:00～20:15
- 実施場所・担当指導者

レベル	内容	実施場所	メイン講師	サポート
上級	文章を使わない書き方	申し込みの多い順に多目的ホール、洋室研修室、和室研修室を割り当てる	担当者は12月のラウンドテーブルにて決定	
中級	体裁を整えた書き方			
初級	基本的な書き方			

- 内容詳細
 - 耐寒訓練の参加申し込みの段階で受けたいレベル（上、中、初級）を調査する。
 - 申し込み人数によっては、小グループを作る。
 - 教え方については担当になったメイン講師に任せる。

(参考) 実施場所写真

- 多目的ホール：スクリーン、ホワイトボードあり



- 洋室研修室：スクリーン、ホワイトボードあり



- 和室研修室：ホワイトボードあり



§5.2 日目プログラム詳細

1. 概要

- 目的：ハイキングを通して、これまでの原隊活動と1日目技能ワークショップで新たに取得したスカウト技能を実践的に利用し理解を深める。
- 想定：6つの修行を無事に終えた阪神さくら地区の君たちであれば、この六甲の山に伝わる「鬼の石」のなぞを解き明かすことができるかもしれない。なんでも石に書かれた文字を集めると鬼の秘密が分かるそうだ。そこで最終試練として六甲の山の「鬼の石」のなぞを見つけだし、本部の柱たちに報告してほしい。今こそ修行の成果を発揮し、班で呼吸を合わせて、「鬼の石」の秘密をあばいてくれ。また「鬼の石」はどこに隠されているか分からないので注意して進むことも大切だ。

✓ 想定のお答え：「花はかおるよ」

- 実施日時：2021年1月11日（月・祝） 8:00～16:00
- ルート：
神戸市立少年自然の家～ダイヤモンドポイント～シュラインロード～記念碑台～石切道～五助堰堤～深田池(深田公園)～阪急御影駅
- 使用地図：国土地理院発行地図 1/25,000 『神戸首部』『有馬』『西宮』

- ポイント内容：

ポイント	場所	内容
1	少年自然の家(グラウンド)	手旗信号(通信)
2	ダイヤモンドポイント	台形橋脚作成(結索)
3	記念碑台(芝生広場周辺)	応急処置法(救急)
4	石切道入口	モールス信号(通信)
5	五助堰堤	高さや距離の測定(計測)
6	深田公園(阪急御影駅近辺)	ハイキング報告書作成(読図)

- 配点：
150点満点：ポイント1～5…各20点：計100点+ポイント6…50点
- 足きり対応：
ポイント閉鎖時間に間に合わなかった場合でも基本的にはコースを完歩してもらう。(下山するルートとして石切道を使うのが最短と考えられる。)またポイント5より手前で足きりになった場合、ポイント5の五助堰堤には向かわず、石切道が終わる分岐から御影駅を目指す。
 - 石切道入口に13時以降到着の場合…アタックザックを回収し身軽にして早く歩いてもらう(荷物は深田池でスカウトに返却)
 - 五助堰堤に15時以降到着の場合…緊急車両で阪急御影駅まで搬送する。
 - 体調不良者
 - 継続可能な症状であれば、その班の次の到着ポイントまで緊急車両で搬送する。
 - 継続が困難な症状の場合、深田公園まで搬送し待機させる。または病院などへ搬送する。※状況に応じて変更あり、実行委員会で協議の上、参加指導者/奉仕指導者に対応を依頼する場合あり。

2. タイムスケジュール

時間	内容	指導者の動き	実行委員	緊急車両
1月10日				
21:00 21:45	指導者プログラム打ち合わせ	各6ポイントの分担	説明： 内田、上田	自然の家
1月11日				
07:30	朝礼 先発は出発	ポイント1以外の指導者は先発と各ポイントへ出発	式典： 実行委員	自然の家
08:00 (09:00) /60分	全体集合 ポイント1 (@自然の家グラウンド)	ポイント1担当で進行 ・課題 ・出発報告でポイント2の場所とルート確認(注)		ポイント2にて 資材を搬出
9:20 (10:20) /65分	ポイント2 @ダイヤモンドポイント	ポイント2担当で進行 ・課題 ・出発報告でポイント3の場所とルート確認(注)		ポイント2閉鎖後、 資材を搬入
10:40 (11:40) /45分	ポイント3 @記念碑台	ポイント3担当で進行 ・課題 ・出発報告で第4ポイントの場所とルート確認(注)		緊急車両として 待機
11:40 (12:40) /80分	ポイント4 @石切道入口	ポイント4担当で進行 ・課題 ・出発報告でポイント5の場所とルート確認(注)		
13:25 (14:25) /90分	ポイント5 @五助堰堤	ポイント5担当で進行 ・課題 ・出発報告でポイント6の場所とルート確認(注)		
15:10 (16:30)	ポイント6 @深田公園	ポイント6担当で進行 ・課題 (30分) ・出発報告で市民交流センター へ向かうよう指示 ・切符配布	報告書の採点。 ポイント得点 集計。	ポイント6閉鎖後、 市民交流センターへ(実行 委員長)
16:00	課題を終えた班から順次市民交流センターへ移動 阪急御影—西宮北口 (発) 16:02、16:12、 16:22～10分毎	中追、後追いはポイント6到着次第、市民交流センターへ移動。	表彰状の準備	
17:00	市民交流センターにて 全体集合。閉会式		司会進行 実行委員	
18:00	解散			

註：

- 時間のカッコ内はポイント閉鎖時間目安。
- 「/〇〇分」は次のポイントまでの予定所要時間目安を記載。
- ポイント所要時間は15～20分で予定。

3. ポイント作業内容詳細

ポイント1：通信（手旗信号）@自然の家グラウンド

想定 / 先行して試練を受けている別の隊員から「鬼の石」の情報が入ってきた。近くに鬼がいるかもしれないので、鬼にバレないように旗柱の力を借りてみんなに情報を伝える。

座標 / 「0885, 0915」(神戸主部)

内容 / 手旗信号の受信と座標読み

準備物 / 手旗、地形図（有馬）、採点表

作業 / 想定を伝えた後、担当指導者は起信符を送信。往信符が返ってきたら本文を送る。終信符後、1分後に再度起信符を送信し、往信があれば本文を再度はじめる。

「アリマチケイズ 「0905, 0145」 デイシヲサガセ」

受信解読、座標ポイント、ルートが分かった班は出発報告をしてポイント2を目指す
<評価方法>20点。出発順に20、19……1点とする。

ポイント2：結索（台形橋脚立て競争）@ダイヤモンドポイント（所要時間20分）

想定 / 輝く石の情報を求めてよくぞ来た。ここでは「鬼の石」探しの拠点を作るために小屋を作っている最中だ。柱の修行で会得した結索の力を貸してほしい。

座標 / 「0905, 0145」(有馬)

内容 / 台形橋脚の作成

準備物 / 竹(1.2m程度)x6本を2セット、麻紐、PPロープ、ペグ8本、ハンマー2本、消毒液、ペーパータオル、採点表

作業 / 制限時間7分以内に竹（または角材）で台形橋脚を作る。早くできた班はさらに紐とペグで台形橋脚を自立させる。指導者の評価後、解体し次のポイント座標を解読。ポイントとルートを出発報告で伝えポイント3を目指す。

※竹は消毒液・ペーパータオルで終了ごとにアルコール消毒を指導者が行う。麻ひもは必要分カットして渡す（2ヒロ半）、使用後はなるべく切らずに回収して捨てる。

<評価方法>計20点。台形橋脚完成5点、結びの正確さ5点、結びの強度5点（結び方が間違っていれば1か所につき1点減点、緩すぎる箇所1つにつき1点減点、5か所以上は0点）。

自立成功5点(おまけ)

ポイント3：救急（応急処置法クイズ）@記念碑台（広場、所要時間15分）

想定 / 「鬼の石」を探していて隊員が1人怪我をしてしまった。柱の修行で身に付けた応急処置法を使って隊員を助けてほしい。

座標 / 「1035, 0135」（有馬）

内容 / 応急処置に関する口述と実演

準備物 / クイズくじ、三角巾、採点表

作業 / 症状名が書かれたカードを1枚引く。書かれた症状に対する応急処置法を口頭または実演で解答する。全7問のうち2問が三角巾を使った実演問題とする。リレー形式で解答し全問正解までの時間を競う。パスは3回までそれ以降減点とする。制限時間10分。正解またはパスで交代。

5問が三角巾を使わない場合の応急処置（止血法、蜂・毛虫など虫刺され、やけど、熱中症、毒）

2問は三角巾を使う応急処置（鎖骨の骨折、ねんざ）

<評価方法>

計20点。

三角巾を使わない5問×2点 計10点

鎖骨（固定3点、箇所2点、方法3点） 計7点

ねんざ（固定1点、方法2点） 計3点

パス1回1点減点

ポイント4：通信（モールス信号）@石切道合流点（所要時間10分）

想定 / 大変だ、「鬼の石」が何者かに持って行かれてしまった。逃げた先の情報を基に「鬼の石」を取り返してくるのだ。

座標 / 「1180, 0195」（有馬）

内容 / モールス信号の受信と座標読み

準備物 / 号笛、地形図（西宮）、採点表

作業 / スカウトの到着報告後、すぐにモールスを起信して次のポイント座標を指示する。

1回目の終信符より1分間隔を空けて2回目の起信符を送り、往信符後に本文をはじめめる。

各班ポイントの場所とルートが分かれば出発報告を行い、ポイント5を目指す。

「ザヒョウ 0185, 0985 ハ ニシミノヤ ノ ドコダ」

<評価方法>20点。正解するまでにかかった時間の順位で20、19……1点とする。

ポイント 5：計測（高さと幅の測量）@五助堰堤(堰堤上広場、所要時間 15 分)

想定 / この辺りに「鬼の石」が隠されているそうだ。あの池と木が怪しい。調査するには大きさがわからないといけないが。そうだ君たちの修行で身に付けた計測の力で調査を手伝ってほしい。

座標 / 「0185, 0985」(西宮)

内容 / 簡易計測法を用いた計測

準備物 / メジャー、採点表

内容 / 五助堰堤北側広場の池と付近の木の高さを計測し、答えを報告する。制限時間 7 分。

<評価方法>計 20 点。池の幅：10 点－(誤差点)。木の高さ：10 点－(誤差点) 合計。

誤差点：～5.0%＝0 点

5.1～7.5%＝3 点

7.6～10.0%＝5 点

10.1～15.0%＝7 点

15.1～%＝10 点

ポイント 6：読図（ハイキング報告書作成）@深田池/深田公園

想定 / 六甲の山を無事下りてくることができてよかった。「鬼の石」の秘密はわかっただろうか？柱たちも鬼の秘密を楽しみに待っている。最後は自分たちで柱に報告してくると良い。ここで報告書を作成しよう。

座標 / 「0105, 0720」(西宮)

内容 / ハイキング報告書作成

準備物 / レポート用紙、採点表、御影駅から西宮北口駅の切符

作業 / 制限時間 30 分でハイキングの報告書を作成し、担当指導者に提出する。

<評価方法>計 50 点。ハイキング報告書評価表に準じて採点。

4. ポイント担当指導者向け詳細

ポイント役割：

- プログラム担当（説明、進行）→各ポイント 2 名で 2 班が同時に出来るよう対応
 - 受付担当（到着、出発時報告受け取り、次のポイントまでのルートを図で示させて確認）
 - 連絡・記録担当（各班の到着・出発時刻とゲームポイントの記録、実行委員・本部との連絡）
- ※出発前までに LINE グループなど作成（実行委員会、連絡係を対象として前日の打ち合わせには招待を完了しておく）

連絡系統：

- 問題が発生した場合
 - 連絡用 LINE(また緊急の場合は実行委員に直接電話)に「対象団・班、内容、対応していれば対応方法」を連絡
 - **実行委員長（実行委員）、地区担当コミ、地区担当**で対応相談
 - **実行委員長（または実行委員）**から対応方法を指示
 - 対応後の結果を連絡用 LINE に報告。
- 怪我や体調不良の場合→対応決定後、**実行委員長**から対象団の隊長にも詳細連絡
- 迷子、遭難の場合
 - **後追いとポイント間で発生**；後追い 2 名で先行して捜索、ポイント側からも 1～2 名で捜索
 - **ポイントとポイント間で発生**；両ポイントから 1～2 名捜索また中追も捜索
 - **発見した場合**、連絡用 LINE に報告、状況によりハイキング再開有無判断

依頼事項：

- 2 日目ハイキングに奉仕参加可能な指導者は、1 日目の班長会議終了後のプログラム打ち合わせに参加をお願いします。（大枠説明、ポイント担当分担(各ポイント 4～6 名程度ずつ)）
- **耐寒訓練 1 日目夜のハイキング打ち合わせ時に連絡用 LINE グループへの参加をお願いします。**
- 行事委員会へ：ポイント 2 の資材の運搬をお願いします。

5. ルートとポイント実施場所

全体ルート



分割ルート

A: 少年自然の家ーダイヤモンドポイント



B: ダイヤモンドポイントー記念碑台



C: 記念碑台－石切道入口



D: 石切道入口－石切道合流点



E: 石切道合流点－深田公園(阪急御影駅近辺)



第69回 阪神さくら地区耐寒訓練 安全対策

集 会 テ ー マ	阪神さくら地区耐寒訓練 (神戸市立少年自然の家)		
実 施 日	集合：2021年1月10日(日) 10:00 解散：2021年1月11日(月・祝) 18:00		
集 合 場 所	1日目 護国神社～神戸市立少年自然の家 2日目 神戸市立少年自然の家～ポイントハイク(ダイヤモンドポイント～記念碑台～石切道～五助堰堤～深田池公園)～阪急御影駅～西宮市市民交流センター		
活 動 の ね ら い	班長訓練の成果の確認とともに、地区BS隊の全班長・次長が共通のプログラムに挑戦することにより、自己の班長次長としてのレベルを知り、今後の班活動への励みとする。		
構 成 班	BS隊班長・次長で構成する2班(1班4～8名) スカウト40名、指導者25名、地区担当者4名、行事委員5名 合計74名(予定※)		
参 加 する 指 導 者 保 護 者	救護車1台 ※令和元年実績を参照	保 護 者 へ の 連 絡	訓練実施要領をもって、各団にて実施予定
参 加 する 指 導 者 保 護 者	実行委員会：加地(西宮10)、田路(芦屋3)、林(西宮6)、内田(西宮27)、上田(西宮13)、奥田(西宮20)、鶴丸(西宮9)、山取(西宮9)、岡崎(広報委員会)、藤尾(地区コミッショナー)	保 護 者 へ の 連 絡	訓練実施要領をもって、各団にて実施予定
参 加 する 指 導 者 保 護 者	各隊指導者、行事委員、地区担当者	保 護 者 へ の 連 絡	訓練実施要領をもって、各団にて実施予定

救 急 医 院 確 認	していない	医院名	救急安心センターこうべ(神戸市)
	こうべ救急医療ネット(http://www.city.kobe.lg.jp/komet/)にて携帯から検索して最寄の診療可能な医療機関を探す。または救急安心センターこうべ(24時間年中無休)に掛ける。	TEL	078-331-7119
実 地 調 査 地 点	事前下見済み(2020年11月28日) また、当日にウーカンテレフォンサービス[リアルタイム災害情報；078-391-0119]にて情報を確認する。	結果は	・当日の天候・気温への注意が必要。 天候不良の場合には1日目は室内プログラムのみ。 2日目は、短縮コースを用意する。
参 加 者 の 健 康 チェックはしたか	当日の集合時にて、班長が検温確認をする	結果は	

活動について(具体的に)		プログラム実施にどのような危険が予想されるか、または潜んでいると思うか。	危険を排除するために立てた対策は何か。	どのように実行するか。(SWIH)
時間	プログラムの内容			
10:00	護国神社 集合	スカウトの体調不良	健康状態の確認	事前に体調管理シートを配布し、受付時に提出
	注意事項の説明			
	班ごとに出発する	新型コロナウイルス感染		班長により班員のアルコール消毒
		転倒	あわてないように声掛けをする。	指導者は、スカウトの動きに目配りをする。
10:30	護国神社 出発	登山中の事故	実行委員による安全確保	実行委員は護国寺付近、自然の家(緊急車両)で待機。
	(事前に各班での自然の家まで計画書に沿って行動する。)			体調不良者(37.5℃以上の発熱含む)が発生した場合には、緊急車両で近隣病院へ搬送する。
				計画書から登ルルート、通過点を監視
		移動中の交通事故	安全係による安全確認	不安全行動があった場合は、安全係から注意喚起させる。
		新型コロナウイルス感染	マスク着用またはSD保持	マスク着用または、スカウト同士の距離を2m以上保持する。
14:00		新型コロナウイルス感染	手のアルコール消毒	班長により班員のアルコール消毒
14:30	開会式	新型コロナウイルス感染	マスク着用またはSD保持	マスク着用または、スカウト同士の距離を2m以上保持する。
11:00	プログラム	新型コロナウイルス感染	マスク着用またはSD保持	マスク着用または、スカウト同士の距離を2m以上保持する。
	夕食	新型コロナウイルス感染	手のアルコール消毒	班長により班員のアルコール消毒
			向かい合う着席、食事の会話	向かい合う着席、食事の私語の禁止
19:00	夜のプログラム			体調不良者(37.5℃以上の発熱含む)が発生した場合には、緊急車両で近隣病院へ搬送する。
20:30	班長会議			
21:00	リーダー会議			
22:00	消灯			
6:00	起床			
7:00	朝食	新型コロナウイルス感染	手のアルコール消毒	班長により班員のアルコール消毒
				室内換気および室内定員半分の運用
7:30	朝礼		向かい合う着席、食事の会話	向かい合う着席、食事の私語の禁止
8:00	ポイントハイク 開始	水分の不足	水分補給を行う	スカウト自身の水分摂取
		体温維持	体調不良のスカウトは直ちに退出	体調の悪いスカウトがいれば、活動を中止させ、
		ハイク中の交通事故	安全係による安全確認	不安全行動があった場合は注意喚起する。
		新型コロナウイルス感染	マスク着用またはSD保持	マスク着用または、スカウト同士の距離を2m以上保持する。
		疲労による体調不良	転倒の傾向がないか監視する	安全係がスカウトの行動に注視し、体調不良があった場合はポイントリーダーへ報告を行う。
	ダイヤモンドポイント(ポイント)			
	記念碑台(ポイント) ※トイレ	登山中の遭難	実行委員による安全確保	実行委員は緊急車両で待機。
	石切道			体調不良者(37.5℃以上の発熱含む)が発生した場合には、緊急車両で近隣病院へ搬送する。
	石切道合流(ポイント)			ポイント通過状況をポイントリーダーと確認する。
	五助堰堤			リーダー間の連絡は、事前のLINE登録または無線(※)
	深田池公園(最終ポイント)			※無線が借用または確保できた場合
	阪急御影駅 出発	新型コロナウイルス感染	手のアルコール消毒、マスク着用	電車乗車前、班長によりマスク着用・班員のアルコール消毒
	阪急西宮北口駅 到着	新型コロナウイルス感染	手のアルコール消毒	電車下車後、班長により班員のアルコール消毒
	西宮市地域交流センター到着			
17:00	閉会式			
18:00	解散	疲労、熱中症	水分補給、体調確認	

※行動時間は、事前下見から算出した。

※上記の通り安全対策を決定し、実行することを確認し、計画参加者は下記のごとく署名する。

令和 2年 12月 5日

署名欄： 鶴丸 一志 鶴丸

※本計画を確認し、実施を許可する。

令和 年 月 日

地区委員長	地区コミッショナー	救護・安全委員長	実行委員長

第69回耐寒訓練 予算案

支出			説明	単価	数量	前年度実績(72名)
	施設使用料	102,000		スカウト	600	65
			大人	1,800	25	
			シート使用料	200	90	
食材	234,000		1日目夜から2日目昼まで	2,600	90	98,305
プロパンガス	0			0	1	3,000
レンタカー	20,000		行事委員	0	1	9,688
			実行委員会	20,000	1	15,798
駐車場代	1,000			1,000	1	900
ガソリン代	2,000			2,000	1	1,960
プログラム費	10,000			10,000	1	
下見交通費	1,000			1,000	1	16,520
帰り交通費	19,550		阪急御影－西宮北口	230	85	35,100
会議費	6,000		表彰用紙	3,000	1	2,640
			印刷費	3,000	1	2,720
予備費	1,450			1,450	1	
行事委員交通費	0					880
高速代	0					12,380
合計	397,000					265,541

収入	参加費	270,000		3,000	90	216,000
	教育委員会補助	50,000				
	地区補助	77,000		5,000	1	30,000
	合計	397,000				246,000

第69回阪神さくら地区耐寒訓練

新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動の計画検討上のポイント

		ガイドライン項目	実行委員会で実施する施策
1. スカウト（参加者、付添者など含む）・家庭への事前連絡、確認事項			
①	a	a. 体調の管理・確認をする。（検温、発熱等の状況）「自分がうつらない」「人にうつさない」を基本とする。	実施2週間前の体調・体温を記録する「体調管理シート」を事前に配布し、当日回収する。当日受付時には検温を実施し、37.5℃以上の体温の者は参加させない。
②	b	b. 家庭（保護者）への活動内容の説明と参加への同意。	11月に各団に実施内容を伝達、その後、各団で参加者を募る際に、各家庭の同意をもらった上で申込みをしてもらう。
③	c	c. 個人の備え（新しい生活様式での生活習慣への対応：手洗い、マスク着用、咳エチケットなど）。	参加者に各団・各隊指導者より、指導を再度徹底するよう呼びかける。マスク着用については、実施要項配布時に説明する。
2. 指導者が準備しておくこと			
④	a	a. 指導者自身の体調管理と個人の備えの確認。（全指導者）	実施2週間前の体調・体温を記録する「体調管理シート」を事前に配布し、当日回収する。当日受付時には検温を実施し、37.5℃以上の体温の者は参加させない。
3. 会場			
⑤	a	a. 活動場所については、換気の良い、密集をさけた空間を選ぶなどの工夫を行う。	1日目の活動、2日目の閉会式は換気が行える広い屋内で活動を実施する。2日目はハイキングであるため、終日屋外での活動となる。
⑥	b	b. 室内などでは、密集をさける人数、広さなどを考慮する。	1日目の活動、2日目の閉会式は換気が行える広い屋内で活動を実施する。
⑦	c	c. 室内であれば、換気を定期的に行う。可能な限り窓等を開けて実施することが望ましい。	10分に1回部屋のすべての空気が入れ替えられるように換気を実施する。
⑧	d	d. 夏季に向かって高温多湿となる季節では、熱中症の対策も考慮する。室内で冷房などを利用する場合でも、換気を行う。	今回は冬季の活動であるため、熱中症の恐れはない。
⑨	e	e. 団本部の施設を利用する場合は、利用頻度の高い場所等こまめに消毒等を行う。特に 集会の前後等は必ず行う。	今回は団本部など日常的に利用する施設は使用しない。
⑩	f	f. ふだんから占有して利用できる施設、野営場など施設のルールに従うこと、ない場合は独自にルールを定めて利用する。	今回は普段から占有して利用できる施設は使用しない。
4. 備品、用具			
⑪	a	a. 複数人で使用を共有する器具等の消毒を使用前、使用後に消毒する。	2日目のポイントハイキングで利用する備品は、ポイント担当者の責任で消毒を行う。
⑫	b	b. 消毒薬等の用意をする。	各班には、普段の活動で利用している消毒液を持参させる。ポイントハイキングのポイントで利用する消毒液等は救護安全委員会で準備する。
⑬	c	c. 使用にあたっての利用者自身の手指消毒を行う。	いつでも手指消毒ができるよう、各班およびポイント責任者が利用できる消毒液をそれぞれの責任において準備する。
5. 飲食			
⑭	a	a. 食事を集団で行うことは、感染リスクが高くなるので、スカウトの年代、プログラム内容などを含めて検討を行う。	施設の食堂利用する際、施設の感染予防策（互い違いに着席する、食事中の会話を控える等）に従って利用し、感染リスクを下げる。
⑮	b	b. 飲食に関しては、日帰りプログラムであれば、個人の持参による対応とし、食事の際も消毒、手洗い、空間の確保に配慮する。	今回は宿泊を伴う活動であるが、調理プログラムは伴わない。
⑯	c	c. 調理プログラムについては、地域の状況などにより検討を行うものとする。	今回は宿泊を伴う活動であるが、調理プログラムは伴わない。
⑰	d	d. 飲料については、「熱中症対策」として必須となるので、個人の持参への補充などについても検討し、取り扱いについては注意をする。	2日目の朝に施設に沸かしていただく茶の補給を各人で行う。ヤカンを回して注ぐ場合は、取っ手の消毒を毎回行うようにする。
6. 休憩、トイレ等			
⑱	a	a. トイレ等、多くの人が触れるモノに触れた後は、手洗い、アルコール消毒を行う。	施設管理者の指導に従い、施設内の消毒を行う。
⑲	b	b. 休憩時は、3つの密にならないように注意する。	実行委員会で休憩時に密集・密接・密閉が発生しないよう観察し、なった場合は直ちに是正する。
⑳	c	c. スカウトの年代、参加人数などにより、3つの密にならないように指導者、補助者が目配りできるように配慮する。	実行委員会で密集・密接・密閉が発生しないよう観察し、なった場合は直ちに是正する。指導は班長に行う。
7. 集会、ゲーム等、活動での工夫			
㉑	a	a. セレモニーやゲームなどをスカウト年代、参加人数、会場の広さなどを考慮して、検討する。	1日目セレモニー、2日目のプログラムの大半は屋外で実施する。1日目の活動、2日目の閉会式は室内となるため、マスク着用・換気を行った上で実施する。
㉒	b	b. ソングを歌う際は、できる限り距離を取る（セレモニーなどの集合時も同様な配慮を行う）。	ソングはマスク着用の状態で行うものとし、距離を取る。
㉓	c	c. 集会内容について、飛沫感染、接触感染に注意し、無理のない活動を計画する。	屋外での活動を中心とするが、屋内の活動などリスクの高い場面があることを考慮し、安全対策計画を立てる。

第69回阪神さくら地区耐寒訓練

新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト

8. 活動に際しての移動時の注意事項		
24	a	a. 公共交通機関を利用する場合は、混んでいる時間帯は避けて利用する。 1日目は土曜日の午前9時頃、2日目は日曜日の16時頃を電車利用とした。混雑が予想される時間帯ではない。
25	b	b. マスクの着用、周りの人との距離を確保できるよう分散乗車、会話は控えめにする。 1日目は各班による移動となるため、分散乗車となる。 2日目は実行委員会で到着順に各班が乗車する電車を指定し、分散乗車となるようにする。
26	c	c. 集会場へ到着した際に、手洗いや手指消毒ができるようにする。 到着時の手指消毒アルコールは実行委員会で準備する。
9. 新しい生活様式を定型化する		
27	a	a. 各隊・団で活動を行う際の活動計画チェックリストなどを作成する。 各隊・団の活動計画チェックリストを確認する。
28	b	b. 手洗い、マスクなど活動の中で一定のルールを決めて、スカウトが取り組めるように工夫する。 各隊・団の活動計画チェックリストを確認する。
10. ガイドライン項目以外の対策		
29	参加者本人または参加者の家族が耐寒訓練当日前に発熱等COVID-19と疑われる症状が出た場合、適切な手順を踏んで医療機関を受診する。	
30	参加者本人または参加者の家族が耐寒訓練当日後に発熱等COVID-19と疑われる症状が出た場合、適切な手順を踏んで医療機関を受診する。 参加者は、医療機関を受診した場合、直ちに所属団委員長に連絡し、団委員長経由で地区委員長に報告する。	
31	宿舍の部屋割・食堂の着席順については実行委員会で予め決定し、耐寒訓練終了後2週間は保管する。	

◎ COVID-19の感染が疑われる症状等があり、医療機関を受診した場合の連絡経路

※連絡は、検査等の実施をしたかしないかに関わらず行うものとする

※医療機関の受診結果、検査結果等が判明した場合は直ちに連絡・報告する

